

平成25年度事務事業評価シート

◎基本情報

事務事業名		「頑張れ！ヴォルティス」なると観光ブランド化・ホームタウン連携事業		担当部署	経済建設部 経済局 観光振興課	
総合計画体系				根拠法令計画など	鳴門市観光振興計画	
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり				
政策(中項目)	2	伝えたい 魅力あふれるまち なると		事業期間	開始	平成 <input type="text" value="25"/> 18 年度
(小項目)	観光		終期			未定 <input type="text"/>
施策	1	観光・交流のまちづくり				
基本事業	4	にぎわいと交流の創出				

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 徳島ヴォルティスや市民を中心とするヴォルティスサポーター、アウェイサポーターや観光客							
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	徳島ヴォルティスやホームタウン協議会加盟市町と連携し、イベント出展やPR事業を行い、鳴門市民のみならず対戦チームのサポーターなど、他県からの観光客が訪れることで新たな地域間交流の創出を目指す。							
成果目標	事業目標の達成度合	指標名		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
		鳴門市民のうち「CLUB VORTIS」会員数		700	800	900	1,000	1,100	人

◎実施結果(DO)

事業実施内容	24年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行ったのか	和菓子店での和菓子作り体験とホームゲーム観戦を組み合わせた婚活イベントを実施した。また、来場した鳥取サポーター100名にスポーツパーク内茶室において、呈茶の接待を行った。アウェイゲームを活用し、岡山戦会場で阿波おどりをはじめとする観光PRを行った。市民団体「和緒一鳴門」と連携し、市文化会館においてパブリックビューイングを開催し、約450名が来場した。市地域バスにヴォルティスの応援を呼びかけるラッピングを行った。							
事業実施手法		<input type="checkbox"/> 市実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他							
指標名		23年度実績	24年度実績	25年度目標	26年度目標	27年度目標	単位		
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	鳴門市民の機運醸成を図るイベント数	5	7	5	5	5	件	
	2	アウェイゲームでの観光PR	0	1	1	1	1	件	
成果指標 対象にどのような効果があつたか示す指標	鳴門市民のうち「CLUB VORTIS」会員数		643	847	—	—	—	人	
	目標達成率(実績/目標)		105.9		—	—	—	%	

コスト分析		23年度実績	24年度実績	25年度	26年度	27年度	単位	
事業費	(財源内訳の合計)		670	614	309	309	309	千円
	財源内訳	国	0	0	0	0	0	
		県	381	254	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		その他	189	0	0	0	0	
		一般財源	100	360	309	309	309	
事業にかかる人件費 (人件費内訳の合計)		3,361	3,361	3,361	3,361	3,361	人	
人件費内訳	正規職員(6,721千円/人)	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5		
	臨時職員等(2,023千円/人)							
総事業費 (事業費と事業にかかる人件費の合計)		4,031	3,975	3,670	3,670	3,670	千円	

◎平成25年の実施状況(DO)

現在の実施状況	市民団体「和緒一鳴門」と連携し、大道銀天街からスタジアムまでをみんなで歩き、ヴォルティスを応援する「ボカスタ遍路」を実施する。 本市の観光拠点である「すろっぴー」の車内放送で徳島ヴォルティス選手による観光案内を行う。 鳴門市民デーや四国ダービーで市民と協働したイベントを実施し、ホームゲームイベントを盛り上げる。 また、アウェイゲームを活用し、観光キャンペーンを行うと同時に、来場したアウェイサポーターに対して鳴門の観光・物産をPRするイベントを実施する。
----------------	---

◎項目別評価(CHECK)

事務事業の評価	1.必要性の評価		理由等所見欄
	8	<input checked="" type="checkbox"/> ① 廃止した場合に支障が出る。	鳴門市をホームタウンに持つJリーグチーム「徳島ヴォルティス」を活用した地域のにぎわい創出や観光PRは、観光・交流のまちづくりをすすめる上で重要である。
		<input checked="" type="checkbox"/> ② 施策 観光・交流のまちづくり の達成につながる事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/> ③ 税金で実施するにふさわしい事業で、市民への説明責任も果たせる。	
		<input checked="" type="checkbox"/> ④ 市民の基本的な生活の維持・確保に必要不可欠な事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤ 行政内部の管理上必要不可欠な事業である。	
	/10	<input type="checkbox"/> ⑤ 法令により実施することが義務づけられている事業である。	
	2.有効性の評価		理由等所見欄
	6	<input checked="" type="checkbox"/> ① 市民生活上の課題解決に貢献している。	徳島ヴォルティスのホームゲームには1試合平均約4,000人の人が集まり、対戦チームからも相当数のサポーターが集まることから観光PRや観光客誘致の手段としても有効である。
		<input checked="" type="checkbox"/> ② 行政内部の管理上の課題解決に貢献している。	
		<input checked="" type="checkbox"/> ③ 事業目標が達成できるような事業内容になっている。	
		<input checked="" type="checkbox"/> ④ 事業対象は適切である。	
<input type="checkbox"/> ⑤ 成果目標が達成され、市民に具体的に説明できるような効果があがっている。			
/10	<input type="checkbox"/> ⑤ 現在の事業費で、事業の見直しによる成果向上の余地はない。		
3.効率性の評価		理由等所見欄	
6	<input checked="" type="checkbox"/> ① 事業実施手法は適切である。	ヴォルティスを活用した地域活性化の取り組みについては、市民・クラブ・行政の連携した取り組みが求められる。	
	<input checked="" type="checkbox"/> ② 事業費を削減する余地はない。		
	<input type="checkbox"/> ③ 作業手順の改善などによる人件費削減の余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/> ④ 受益者負担や補助金の割合に問題はない。		
	<input type="checkbox"/> ⑤ 効率性向上の余地はない。		
/10			

◎今後の方向性(ACTION)

課題					
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓「廃止」・「要改善」・「拡充」の場合は以下の欄に記入してください。					
今後の改革案	実施予定時期	<input type="text"/> <input type="text"/>			
	どのように改革するのか				